



Cisco UCS Central へ Cisco UCS ドメインを登録

この章の内容は、次のとおりです。

- [Cisco UCS ドメインの登録, 1 ページ](#)
- [Cisco UCS Manager と Cisco UCS Central との間のポリシー解決, 2 ページ](#)
- [を使用した Cisco UCS Central への Cisco UCS ドメインの登録, 4 ページ](#)
- [を使用した Cisco UCS Manager と Cisco UCS Central の間のポリシー解決の設定, 5 ページ](#)
- [Cisco UCS Manager での Cisco UCS Central 登録プロパティの設定, 7 ページ](#)
- [を使用した Cisco UCS Central からの Cisco UCS ドメインの登録解除, 8 ページ](#)

Cisco UCS ドメインの登録

データセンター内の Cisco UCS ドメインの一部またはすべてを Cisco UCS Central が管理するように設定できます。

Cisco UCS Central に Cisco UCS ドメインを管理させる場合、そのドメインを登録する必要があります。登録するときに、Cisco UCS Central と Cisco UCS Manager でそれぞれ管理するポリシータイプやその他の設定（バックアップやファームウェアなど）を選択する必要があります。Cisco UCS Central によって、登録されたすべての Cisco UCS ドメインで同じタイプのポリシーおよび設定を管理するか、または登録された各 Cisco UCS ドメインに異なる設定を行うこともできます。

Cisco UCS Central に Cisco UCS ドメインを登録する前に、以下を実行します。

- Cisco UCS Manager と Cisco UCS Central が同期されるようにするには、双方に NTP サーバと正しいタイムゾーンを設定します。Cisco UCS ドメインと Cisco UCS Central の日時が同期していなければ、登録が失敗する可能性があります。
- Cisco UCS Central のホスト名または IP アドレスを取得します。
- Cisco UCS Central を展開したときに設定した共有シークレットを取得します。



(注) Cisco UCS Central に登録されているドメイン内で Cisco UCS Manager が使用する IP アドレスを変更または交換することはできません。IP アドレスを変更または交換しなければならない場合は、まず Cisco UCS Central からドメインを登録解除する必要があります。IP アドレスを変更または交換した後で、Cisco UCS ドメイン を再登録できます。

Cisco UCS Manager と Cisco UCS Central との間のポリシー解決

Cisco UCS Central で登録する各 Cisco UCS ドメイン では、特定のポリシーおよび設定を管理するアプリケーションを選択できます。このポリシー解決は、同じ Cisco UCS Central に登録したすべての Cisco UCS ドメイン で同じである必要はありません。

これらのポリシーおよび設定を解決するには、次のオプションを使用します。

- [ローカル (Local)] : ポリシーまたは設定は、Cisco UCS Manager によって決定および管理されます。
- [グローバル (Global)] : ポリシーまたは設定は、Cisco UCS Central によって決定および管理されます。

次のテーブルには、Cisco UCS Manager または Cisco UCS Central のいずれかで管理するように選択できるポリシーと設定のリストを示します。

名前	説明
インフラストラクチャおよびカタログファームウェア (Infrastructure & Catalog Firmware)	機能カタログとインフラストラクチャファームウェアポリシーが、Cisco UCS Manager でローカルに定義されるかまたは Cisco UCS Central から取得されるかを決定します。
タイムゾーン管理 (Time Zone Management)	タイムゾーンと NTP サーバの設定が Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、Cisco UCS Central から取得されるかを決定します。
コミュニケーションサービス (Communication Services)	HTTP、CIM XML、Telnet、SNMP、Web セッション制限、管理インターフェイス モニタリング ポリシー設定を、Cisco UCS Manager でローカルに定義するか、または Cisco UCS Central で定義するかを決定します。
グローバル障害ポリシー (Global Fault Policy)	グローバル障害ポリシーが Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、または Cisco UCS Central で定義されるかを決定します。

名前	説明
ユーザ管理 (User Management)	認証およびネイティブドメイン、LDAP、RADIUS、TACACS+、トラストポイント、ロケールおよびユーザロールを Cisco UCS Manager でローカルに定義するか、または Cisco UCS Central で定義するかを決定します。
DNS 管理 (DNS Management)	DNS サーバが Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、または Cisco UCS Central で定義されるかを決定します。
バックアップおよびエクスポートポリシー (Backup & Export Policies)	フルステートバックアップポリシーおよびすべての構成のエクスポートポリシーが、Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、または Cisco UCS Central で定義されるかを決定します。
モニタリング (Monitoring)	Call Home、Syslog、TFTP Core Exporter 設定が、Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、または Cisco UCS Central で定義されるかを決定します。
SEL ポリシー (SEL Policy)	SEL ポリシーが Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、または Cisco UCS Central で定義されるかを決定します。
電力割り当てポリシー (Power Allocation Policy)	電力割り当てポリシーが Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、または Cisco UCS Central で定義されるかを決定します。
Power Policy (電源ポリシー)	電源ポリシーが Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、または Cisco UCS Central で定義されるかを決定します。
機器ポリシー (Equipment Policy)	機器ポリシーが Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、または Cisco UCS Central で定義されるかを決定します。
ポート設定 (Port Configuration)	ポート設定が Cisco UCS Manager でローカルに定義されるか、または Cisco UCS Central で定義されるかを決定します。

を使用したCisco UCS CentralへのCisco UCSドメインの登録



(注) Cisco UCS Centralに登録されているドメイン内でCisco UCS Managerが使用するIPアドレスを変更または交換することはできません。IPアドレスを変更または交換しなければならない場合は、まずCisco UCS Centralからドメインを登録解除する必要があります。IPアドレスを変更または交換した後で、Cisco UCSドメインを再登録できます。

はじめる前に

Cisco UCS ManagerとCisco UCS Centralが同期されるようにするには、双方にNTPサーバと正しいタイムゾーンを設定します。Cisco UCSドメインとCisco UCS Centralの日時が同期していなければ、登録が失敗する可能性があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A/system # create control-ep policy ucs-central	<p>Cisco UCSドメインをCisco UCS Centralに登録するために必要なポリシーを作成します。</p> <p><i>ucs-central</i>にはCisco UCS Centralが導入されている仮想マシンのホスト名またはIPアドレス。を使用できます。</p> <p>(注) IPv4やIPv6アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNSサーバを設定する必要があります。Cisco UCSドメインがCisco UCS Centralに登録されていないか、またはDNS管理が[ローカル (local)]に設定されている場合は、Cisco UCS ManagerでDNSサーバを設定します。Cisco UCSドメインCisco UCS Centralに登録されていないか、DNS管理が[グローバル (global)]に設定されている場合は、Cisco UCS CentralでDNSサーバを設定します。</p>
ステップ 3	登録に使用する共有秘密 : <i>shared-secret</i>	Cisco UCS Centralを導入したときに設定した共有秘密 (またはパスワード) を入力します。
ステップ 4	UCS-A/system/control-ep # commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

次に、IP アドレス 209.165.200.233 で Cisco UCS ドメイン を Cisco UCS Central システムに登録し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # create control-ep policy 209.165.200.233
Shared Secret for Registration: S3cretW0rd!
UCS-A /system/control-ep* # commit-buffer
UCS-A /system/control-ep #
```

次の作業

Cisco UCS Manager と Cisco UCS Central の間にポリシー解決を設定します。

を使用した Cisco UCS Manager と Cisco UCS Central の間のポリシー解決の設定

はじめる前に

ポリシー解決を設定するには、最初に Cisco UCS ドメイン を Cisco UCS Central に登録する必要があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A/system # scope control-ep policy	control-ep ポリシー モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A/system/control-ep # set backup-policy-ctrl source {local global}	フルステートバックアップ ポリシーおよびすべての構成のエクスポート ポリシーが、ローカルまたは Cisco UCS Central のどちらで定義されるかを決定します。
ステップ 4	UCS-A/system/control-ep # set communication-policy-ctrl source {local global}	HTTP、CIM XML、Telnet、SNMP、Web セッション制限、管理インターフェイス モニタリング ポリシー設定を、ローカルまたは Cisco UCS Central のどちらで定義するかを決定します。
ステップ 5	UCS-A/system/control-ep # set datetime-policy-ctrl source {local global}	日付と時刻がローカルで定義されるかまたは Cisco UCS Central から取得されるかを決定します。
ステップ 6	UCS-A/system/control-ep # set dns-policy-ctrl source {local global}	DNS サーバがローカルまたは Cisco UCS Central のどちらで定義されるかを決定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 7	UCS-A/system/control-ep # set fault-policy-ctrl source {local global}	グローバル障害ポリシーがローカルまたは Cisco UCS Central のどちらで定義されるかを決定します。
ステップ 8	UCS-A/system/control-ep # set infra-pack-ctrl source {local global}	機能カタログとインフラストラクチャファームウェアポリシーが、ローカルで定義されるかまたは Cisco UCS Central から取得されるかを決定します。
ステップ 9	UCS-A/system/control-ep # set mep-policy-ctrl source {local global}	管理対象エンドポイントがローカルまたは Cisco UCS Central のどちらで定義されるかを決定します。
ステップ 10	UCS-A/system/control-ep # set monitoring-policy-ctrl source {local global}	Call Home、Syslog、TFTP Core Exporter 設定が、ローカルまたは Cisco UCS Central のどちらで定義されるかを決定します。
ステップ 11	UCS-A/system/control-ep # set powermgmt-policy-ctrl source {local global}	電源管理がローカルまたは Cisco UCS Central のどちらで定義されるかを決定します。
ステップ 12	UCS-A/system/control-ep # set psu-policy-ctrl source {local global}	電源装置がローカルまたは Cisco UCS Central のどちらで定義されるかを決定します。
ステップ 13	UCS-A/system/control-ep # set security-policy-ctrl source {local global}	認証およびネイティブドメイン、LDAP、RADIUS、TACACS+、トラストポイント、ローカルおよびユーザロールをローカルまたは Cisco UCS Central のどちらで定義するかを決定します。
ステップ 14	UCS-A/system/control-ep # commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

次に、Cisco UCS Central に登録された Cisco UCS ドメインにポリシー解決を設定し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # scope control-ep policy
UCS-A /system/control-ep* # set backup-policy-ctrl source global
UCS-A /system/control-ep* # set communication-policy-ctrl source local
UCS-A /system/control-ep* # set datetime-policy-ctrl source global
UCS-A /system/control-ep* # set dns-policy-ctrl source global
UCS-A /system/control-ep* # set fault-policy-ctrl source global
UCS-A /system/control-ep* # set infra-pack-ctrl source global
UCS-A /system/control-ep* # set mep-policy-ctrl source global
UCS-A /system/control-ep* # set monitoring-policy-ctrl source global
UCS-A /system/control-ep* # set powermgmt-policy-ctrl source global
UCS-A /system/control-ep* # set psu-policy-ctrl source local
UCS-A /system/control-ep* # set security-policy-ctrl source global
```

```
UCS-A /system/control-ep* # commit-buffer
UCS-A /system/control-ep #
```

Cisco UCS ManagerでのCisco UCS Central登録プロパティの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	UCS-A# scope system	システムモードを開始します。
ステップ2	UCS-A /system # scope control-ep policy	登録ポリシーを入力します。
ステップ3	UCS-A /system/control-ep # set cleanupmode {}	次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • [グローバルにローカライズする (Localize Global)] : Cisco UCSドメインが登録解除されると、Cisco UCSドメイン内のすべてのグローバルポリシーがCisco UCS Managerにローカライズされます。ポリシーはCisco UCSドメイン内に残り、ポリシーの所有権がローカルでCisco UCS Managerになり、Cisco UCS Managerの管理者ユーザが変更を行うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> (注) Cisco UCSドメインをCisco UCS Centralに再登録すると、Cisco UCS CentralとCisco UCS Managerの両方にポリシーが存在するため、ポリシーの競合が起こる可能性があります。グローバルサービスプロファイルを作成して関連付ける前に、ローカルポリシーを削除するか、ローカルポリシーをグローバルに設定します。 • [グローバルディープ削除 (Deep Remove Global)] : このオプションは、慎重に検討してから使用してください。Cisco UCSドメインが登録解除されると、Cisco UCSドメインのすべてのグローバルポリシーが削除されます。グローバルサービスプロファイルが存在する場合、それらのプロファイルはCisco UCS Managerのローカルデフォルトポリシーを参照するようになり、次のいずれかの状況になります。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ ローカルデフォルトポリシーが存在する場合、サーバは再起動します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> ローカルデフォルトポリシーがない場合、サービスプロファイル関連付けは設定エラーで失敗します。 <p>(注) グローバルディープ削除のクリーンアップモードでは、Cisco UCS Centralからの登録解除時にグローバルVSANおよびVLANは削除されません。したがって、必要に応じて手動で削除する必要があります。</p>
ステップ 4	UCS-A /system/control-ep # set suspendstate on	一時停止状態を設定します。自動的に設定されると、Cisco UCSドメインがCisco UCS Centralから一時的に削除され、すべてのグローバルポリシーはローカルの同等のものに戻ります。すべてのサービスプロファイルは、現在のIDを維持します。ただし、グローバルプールは表示されなくなり、新しいサービスプロファイルからはアクセスできません。一時停止状態をオフにするには、状況を認識する必要があります。
ステップ 5	UCS-A /system/control-ep # set ackstate acked	Cisco UCS ManagerとCisco UCS Centralの間に不一致が存在し、引き続きCisco UCSドメインをCisco UCS Centralに再接続する意図があることを確認します。これは自動的に一次停止状態をオフにします。
ステップ 6	UCS-A /system/control-ep # commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

次の例は、Cisco UCS Central登録クリーンアップモードをdeep-remove-globalに変更して、トランザクションをコミットする方法を示しています。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # scope control-ep policy
UCS-A /system/control-ep* # set cleanupmode deep-remove-global
UCS-A /system/control-ep* # commit-buffer
UCS-A /system/control-ep #
```

を使用したCisco UCS CentralからのCisco UCSドメインの登録解除

Cisco UCSドメインからCisco UCS Centralを登録解除すると、それ以降、Cisco UCS Managerはグローバルポリシーの更新を受信しなくなります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope system	システム モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A/system # delete control-ep policy	ポリシーを削除し、Cisco UCS ドメインを Cisco UCS Central から登録解除します。
ステップ 3	UCS-A/system # commit-buffer	トランザクションをシステム設定にコミットします。

次の例は、Cisco UCS ドメイン を Cisco UCS Central から登録解除し、トランザクションをコミットします。

```
UCS-A# scope system
UCS-A /system # delete control-ep policy
UCS-A /system* # commit-buffer
UCS-A /system #
```

を使用した Cisco UCS Central からの Cisco UCS ドメインの登録解除